

# IBM TS3500 テープ・ライブラリー

データ保護、長期保存に対応し、圧倒的な拡張性を持つ自動テープ・ソリューション

---

## ハイライト

- テープへの、スケーラブルなデータ保存の自動化をサポート
  - 極めて優れたスケーラビリティと容量を提供
  - 単一のライブラリー・イメージで最大 2.25 エクサバイト (EB) の自動化ストレージを低コストで提供
  - テープ・ドライブの暗号化機能と Write Once Read Many (WORM) カートリッジ採用により、データ・セキュリティと規制準拠に対応
- 

IBM® TS3500 テープ・ライブラリーは、ミッドレンジからエンタープライズ環境に対応するスケーラビリティに優れた自動テープ・ライブラリーとして設計され、メインフレームとオープン・システムのバックアップとアーカイブを実現します。

## オープン環境とメインフレーム環境のバックアップの自動化

TS3500 は、固有の Worldwide Name やマルチパス・アーキテクチャー、ドライブ/メディア例外報告、ドライブ/メディアの遠隔管理、およびサーバーとの接続を冗長化するパス・フェイルオーバーなどの機能を提供して、テープ・ドライブの統合の分野で業界をリードし続けています。L23、D23 フレームは、IBM TS1150、IBM TS1140、IBM TS1130、IBM TS1120、IBM 3592 J1A のテープ・ドライブをサポートします。L53、D53 フレームは、Linear Tape-Open (LTO) Ultrium テープ・ドライブをサポートします。L フレームは、向上したカートリッジ処理機構、ホットスワップ・ドライブのパッケージ化と、オプションで追加の 16 スロット入出力 (I/O) ステーションをサポートします。TS3500 ライブラリーはメディアの混在をサポートしており、LTO Ultrium カートリッジは LTO Ultrium テープ・ドライブをサポートするフレームに、また、3592 カートリッジは TS1150、TS1140、TS1130、TS1120、3592 J1A の各テープ・ドライブをサポートするフレームに、それぞれ収容されます。

TS3500 は、IBM TS7700 仮想テープ・サーバー・ファミリーとの併用により、IBM z Systems をサポートします。TS7700 によって、z Systems から TS3500 カートリッジ・インベントリーへのアクセスと、TS1150、TS1140、TS1130、TS1120、3592 J1A のテープ・ドライブへの接続が可能になります。

## 大容量、高密度、低コストのストレージを提供

クラウド、モバイル、ソーシャル・メディアのテクノロジーの採用の増加に伴い、企業でストレージ要件が急激に増大しています。その結果、ストレージ要件が急激に増加し、ストレージ容量を追加する必要性が高まっています。一方で、データセンター内の設置スペースには制約があります。このような相反するストレージ要求のバランスを取るために、TS3500 は、ドライブを搭載しないストレージ専用的高密度フレームをサポートします。高密度フレームは、高密度スロットを搭載しており、ライブラリーの総容量を大幅に増やせます。高密度フレームには複数層のカートリッジ・スロットが装備されていますが、物理的な占有スペースは L フレームや D フレームと同じです。高密度フレームで構成された TS3500 は、LTO カートリッジを使用して最大 300 ペタバイト (PB) の圧縮データを、または 3592 カートリッジを使用して最大 450 PB の圧縮データを保管できます。



TS3500 は、IBM テープ・ライブラリー・コネクター (シャトル・コネクター) をサポートしています。シャトル・コネクターによって、1 つまたは複数のライブラリー・ストリングを相互接続して、最大 15 個のライブラリーと、最大 2,880 のテープ・ドライブから成るデータ総容量 2.25 EB を収容する複合システムを形成し、膨大な量の情報を自動的に保管して管理できます。



拡張ライブラリー管理システム (ALMS) は、システムを止めることなくストレージ管理を可能にします。利用者は、柔軟に論理ライブラリーの作成と変更を行い、すべての論理ライブラリーにすべてのドライブを構成できます。

### 暗号化と WORM メディアをサポート

バックアップ・テープの紛失時や盗難時の情報の機密を守るために、TS3500 は、TS1150、TS1140、TS1130、TS1120 のほか、LTO Ultrium のテープ・ドライブ暗号化をサポートしています。これらのテープ・ドライブは、ドライブ自体にデータ暗号化機能が組み込まれており、ホスト・コンピューターに依存し、ホスト・コンピューターのリソースを消費するソフトウェア・ベースのデータ暗号化や、特殊な暗号化装置は必要ありません。

Java™ プラットフォーム用の IBM Security Key Lifecycle Manager コンポーネントは、TS1150、TS1140、TS1130、TS1120、LTO Ultrium のテープ・ドライブに対する暗号鍵を生成して管理します。この機能は標準鍵リポジトリを使用し、アプリケーション管理、システム管理、ライブラリー管理という 3 種類の異なる暗号鍵方式をサポートします。

IBM TS1150、TS1140、TS1130、TS1120、LTO Ultrium のテープ・ドライブは、WORM LTO メディアもサポートします。

### 強力なソフトウェアとの統合

IBM Spectrum Protect やその他の幅広いストレージ・ソフトウェアなどの業界最先端のストレージ管理ソリューションを組み合わせることで、TS3500 テープ・ライブラリーをさらに強化できます。

### 一元化されたテープ管理

IBM は、TS3500 テープ・ライブラリー用にさまざまな管理ソフトウェアを提供しています。TS3500 テープ・ライブラリーのソフトウェア・オプションの一部は、[サポート・ポータル](http://www.ibm.com/support/entry/portal/ja/) (http://www.ibm.com/support/entry/portal/ja/) からダウンロードできます。

### 高可用性の確保を支援

TS3500 テープ・ライブラリーは、カートリッジをマウントするパフォーマンスとシステム全体の信頼性と可用性を高めるために、デュアル・アクセサー・モデルの利用が可能で、TS3500 モデル HA1 では、2 ~ 16 のフレーム構成で 2 台のロボット・アクセサーが同時に作動します。

### 拡張機能の組み込み

TS3500 テープ・ライブラリーは、最先端のパフォーマンスと長期的な価値を提供するためのさまざまな拡張機能を用いて設計されています。

- 最大 16 のフレームに最大 192 台のドライブを収容し、ライブラリー複合システムに最大 15 の相互接続ライブラリーを収容する柔軟な容量拡張性
- 複数のサーバーとアプリケーションを論理的なライブラリー区画へ同時に接続可能
- Web ベースのインターフェースを介したライブラリー制御と構成の遠隔管理
- Simple Network Management Protocol (SNMP) の照会とトラップの機能
- 事業継続性の向上と災害時回復をサポートする自動コントロール・パスやデータ・パス・フェイルオーバー
- 可用性を高めるための予備のコントロール・パス、グリッパー、電源機構と AC フィード

**IBM TS3500 テープ・ライブラリーの概要**

<b>管理ソフトウェア</b>	IBM TS3500 コマンド・ライン・インターフェース (CLI) IBM Security Key Lifecycle Manager IBM Tape System Library Manager Rocket Servergraph
<b>フレームの定義</b>	<p><b>L23</b> – IBM TS1150、IBM TS1140、IBM TS1130、IBM TS1120、または3592 のテープ・ドライブの基本フレーム</p> <p><b>D23</b> – TS1150、TS1140、TS1130、TS1120、または3592 のテープ・ドライブのドライブ対応およびストレージ拡張フレーム</p> <p><b>S24</b> – 3592 カートリッジのストレージ専用拡張フレーム</p> <p><b>L53</b> – LTO の基本フレーム</p> <p><b>D53</b> – LTO のドライブ対応およびストレージ拡張フレーム</p> <p><b>S54</b> – LTO のストレージ専用拡張フレーム</p> <p><b>HA1</b> – デュアル・アクセサリ・フィーチャーで使用するためのハイ・アベイラビリティ・サービス・ベイ・フレーム</p> <p><b>SC1</b> – ライブラリー・シャトル・コネクタ</p>
<b>テープ・ドライブ・タイプ</b>	TS1150、TS1140、TS1130、TS1120、または 3592 のテープ・ドライブ、または LTO Ultrium 7、6、5、4、3、2、1 のテープ・ドライブ



**仕様の詳細については、次の Web サイトをご覧ください。製品仕様**  
 ● 製品仕様の詳細な情報をご覧ください。

## 詳細情報

IBM TS3500 テープ・ライブラリーの詳細については、日本 IBM 営業担当員または IBM ビジネス・パートナーにお問い合わせいただくか、次の Web サイトをご覧ください。  
[ibm.com/systems/jp/storage/products/tape/3500/](http://ibm.com/systems/jp/storage/products/tape/3500/)



---

© Copyright IBM Corporation 2015

日本アイ・ビー・エム株式会社  
〒103-8510 東京都中央区日本橋箱崎町 19-21

Produced in Japan  
October 2015

IBM、IBM ロゴ、ibm.com、IBM Spectrum Protect および IBM z Systems は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corporation の商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があります。現時点での IBM の商標リストについては、[ibm.com/legal/copytrade.shtml](http://ibm.com/legal/copytrade.shtml) をご覧ください。

Java は Oracle やその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Linear Tape-Open, LTO, および Ultrium は、HP, IBM Corp. および Quantum の米国およびその他の国における商標です。

本資料の情報は最初の発行日の時点で得られるものであり、予告なしに変更される場合があります。日本IBM は、この情報を更新する義務を負わないものとします。すべての製品が、IBM が営業を行っているすべての国において利用できるわけではありません。

日本IBM 製品およびプログラムとともに使用する 日本IBM 以外の製品とプログラムの動作の評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

本資料の掲載情報は特定物として現存するままの状態を提供され、第三者の権利の不侵害の保証、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任なしで提供されています。IBM 製品は、IBM 所定の契約書の条項に基づき保証されます。お客様は自己の責任で関連する法規定を順守しなければならないものとします。IBM は法律上の助言を提供することはいたしません。また、IBM のサービスまたは製品が、お客様がいかなる法規も順守されていることの裏付けとなると表明するものでも、保証するものでもありません。

ストレージ容量は、非圧縮データと圧縮データの両方について記載する場合があります。実際に使用可能な容量は、さまざまな要因により変動するため、記載された値より少ない場合があります。



Please Recycle